



今回のテーマは「音楽」！みなさんはどんな音楽が好きですか？夏の暑さも吹き飛ばすような、音楽にかける主人公の熱い情熱を感じてみたり、音楽とともに知らない世界をのぞいてみたり…。夏休み、本で音楽を楽しんでください！



『廉太郎ノオト Rentaro note』

谷津 矢車 / 著 中央公論新社

明治時代の作曲家、瀧廉太郎。『荒城の月』や『花』『お正月』など現在でも知られるたくさんの曲を作りました。

彼は幼い頃から音楽に興味を持ち、16才で東京音楽学校本科生となり、仲間達と切磋琢磨しながら、音楽の才能を開花させていきました。やがて研究科へ進み、同校のピアノ講師もつとめました。のちにドイツへ留学。しかし病気により、あえなく帰国します。そして、24年足らずの短い生涯を閉じるのでした。

これは、音楽に人生をかけた青年の、青春の物語です。

『アドリブ』 佐藤 まどか / 著 あすなろ書房

「フルートをやりたい」という強い思いから、国立音楽院に入学したユージ。しかし最近、仲間の才能やプロになることへの厳しさを目の当たりにし、音楽への覚悟が問われ始めていました。はたしてユージは音楽とどう向き合い決断していくのでしょうか？

「音を楽しむこと」を通して成長していくユージの姿に力をもらえます。



時の旅人

アリソン・アトリー作
松野正子訳



『時の旅人』

アリソン・アトリー／作 まつの まさこ
松野 正子／訳 岩波書店

500年の時を越え、歴史的な大事件に関わることとなった少女の冒険物語。主人公ペネロピーを通して、16世紀と20世紀のイギリスを感じてみませんか。

この作品には、いろいろな楽器や歌が登場しますが、特に印象に残るのは、「グリーンスリーブス」というイギリスの古い歌です。物語の中ではペネロピーと、彼女が出会った過去の時代の少年とをつなぐ、大切な歌になっています。

『袋鼠親爺の手練猫名簿』

評論社

T.S.エリオット／著 アクセル・シェフラー／画 やなせ なおき
柳瀬 尚紀／訳

ミュージカル「キャッツ」の原作です。いたづらをしたり、お芝居したり……個性豊かな猫が次々登場します。韻を踏んだ原文を、リズムカルに翻訳した詩にも注目です。愉快で猫な詩（猫という字はミョウとも読みます）の世界をのぞいてみませんか？



『いのちのヴァイオリン』

なかざわ むねゆき
中澤 宗幸／著 ポプラ社

ヴァイオリンは、森の中で長い年月を生きてきた木から作られます。ヴァイオリンドクターの中澤さんは、ヴァイオリンを製作・修復するとき、その木が生きてきた壮大な自然のドラマに思いを馳せます。樹齢200年の木を切ったならば、最低でも200年使い続けられるヴァイオリンを作る。ただ楽器を作るというわけではなく、そこには、木を切ることへの責任や、未来へヴァイオリンを受け継いでいくことへの使命感が感じられます。



京都市西京図書館

〒615-8236

京都市西京区山田大吉見町20-3

電話(075)392-5558 FAX(075)381-8901

- 開館時間 平日 : 午前9時30分～午後7時
土曜・日曜・祝日 : 午前9時30分～午後5時
- 休館日 毎週火曜日（火曜日が祝日の時はその翌平日）
年末・年始



京都市洛西図書館

〒610-1143

京都市西京区大原野東境谷町2丁目1-2 洛西総合庁舎1階

電話(075)333-0577 FAX(075)333-0887

- 開館時間 平日 : 午前9時30分～午後7時
土曜・日曜・祝日 : 午前9時30分～午後5時
- 休館日 毎週火曜日（火曜日が祝日の時はその翌平日）
年末・年始

